

令和3年駒ヶ根市教育委員会 第1回定例会会議録

1. 告示年月日 令和3年1月15日（金曜日）
2. 開催年月日 令和3年1月27日（水曜日）
3. 開催場所 駒ヶ根市役所 南庁舎2階 大会議室
4. 開会時刻 午後4時
5. 閉会時刻 午後4時29分

6. 議題
 - 審議案件
 - 議案第1号 駒ヶ根市公立学校教職員組合への回答について
 - 議案第2号 駒ヶ根市指定文化財の指定について
 - 協議事項
 - (1) 来年度学級編成について
 - 報告事項
 - (1) 行事共催等承認申請の専決処分について
 - その他
 - (1) 市内小中学校の卒業式、入学式への教育委員の出席について

7. 出席者

教 育 長	本 多 俊 夫
教育長職務代理人	福 澤 惣 一
委 員	氣賀澤 知 保
委 員	唐 澤 浩
委 員	木 下 健 一

 - 委員以外で会議に出席した者
北澤教育次長、北原子ども課長、宮下社会教育課長、小原学校教育係長、
山本教育総務係長、吉澤教育総務係、馬場教育総務係
 - 傍聴者： 1人（うち報道機関 1人）

8. 会議のてん末

1) 開会宣言 本多教育長（午後4時）

2) 教育長報告

○本多教育長 教育長報告ということです。

先ほど木下さんに「おめでとうございます。」なんて言いましたが、年が明けて、本当に初めてですので、挨拶を。「明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。」

そこにちょっと書かせていただきましたけれども、「梅白し まことに白く 新しく」と星野さんが言っています。毎年、梅は咲くけれども、今年もまた新しい気分です。年が改まると、コロナ禍であってもそんな感じがいたします。

黒いひし形の印のところの「県教委より」というところの2行目に「新しき年の初めの初春の今日降る雪のいやしけ吉事」大伴家持が歌っておりますけれども、これは「新しい」と書いて「あらたしき」と読みますけれども、新年に降る雪はとても縁起がいいんだけど、縁起のよい雪と同じように今年もいいことがいっぱい降りかかってきて降り積もれということでもあります。年が明けると、いつもこんなような襟を正すような感じでありますけれども、もう、はや1か月が過ぎようとしております。

言いかけても、矢野課長が「新しき」という和歌を言っておりました。

また、北原会長のほうは、日々薄氷を踏む思いだけでも、温故知新の気持ちで進めたいというようなお話がございました。

県教委のほうからは、いつもこの時期には必ず、非違行為根絶とか、一年間のまとめ等に入るのでUSBメモリー等はなくさないようにとか、きちっとまとめるようにというような話がございます。心を引き締めよということじゃないかなあというように思います。

①の「わいせつ行為根絶」のところの4つ目に「児童生徒に対して「〇〇ちゃん」等、特別な呼称で呼ばない。」というように出ております。中には、児童生徒と親しくなるためにというように、教員のほうにまで何々ちゃんだったり、教員をあだ名で呼んでいるようなところがありますが、あれは決して、私個人としてはいいことではないと、昔から言っている親しき中にも礼儀ありとか、そういうようなことにもつながるとても大事なことかなあと、ちょっと何かを履き違えているのは親の影響もかなりあるということがございます。そういうところは、それこそ教育委員さんや地域の人が「おかしかねえかい？」と一言言ってやるのが大事かなあというように思います。意外と若い人の中には「ああ、そうですか。」ということで意外と温かく受け入れる状態もございますので、分からないときには、また説明して解いてやるということが大事かなあというふうに思います。

すみません。次の2ページのほうでございますが、「新人の言葉・生き方に学ぶ」と「ちょっと立ち止まって」、後から言い訳するようで本当に申し訳ないんですが、本多の感想がちょっとこのところから抜けております。「ちょっと立ち止まって」の藤田さんの言葉もそのまま、もう気持ちそのままだったので、つい書きませんでしたけれども、御勘弁願いたいと思います。

「先人の言葉・生き方に学ぶ」のほうでは、幸田露伴が「努力論」の中に3つの福ということで借福、分福、植福とありますけれども、最後の植福、これは、終わりから3行ですが「リンゴの種を蒔いたり、苗木を植えたりすることで、新しい木を育てることである。虫害で枯れかかって

いる木があるとしたら、適切な手当をすることも植福である。」と、まさに教育、あるいは校長の仕事の本質がここにあるんじゃないかなというふうに思います。

「ちょっと立ち止まって」のほうは、これは、アメリカンフットボールの富士通のグループのアドバイザーに藤田智さんがおるわけですけれども、とても教育関係に対して大事なことがあるかなと。

3つ目の白丸のところに「選手に言い続けてきた三つのこと」があります。「いまに集中」「思い切りよく」「最後までやり通す」その中で特に「いまに集中」というのがとても大事なかなというふうに思います。常にチームを優勝に導きたいと言っていたときに、アメリカから助っ人に来ていた選手が、優勝を狙うとか、そういう先のことを言っているんじゃないかと、今日の前の試合をうんと大事にすることが次につながるのじゃないかということで、はっとしたという、そんなようなことから、戒めとして「いまに集中」「思い切りよく」「最後までやり通す」と、この3つを、毎回、口が酸っぱくなるほどに伝えているようであります。特に、アンダーラインを引きましたけど、そのためには、「練習の時から」とか、「普段から」というのがいかに大事かということをお伝えしております。なるほどなというふうに思います。

アスタリスクのところに「以上を普段から言葉を尽くして語り続けると、いざ試合に臨むときに「いまに集中」のひと言で皆が一つになれる。」とあります。

内から育つという駒ヶ根市の教育の求める姿のところも、内から育つ、内から育つ姿って毎日毎日言い続けると、また語り続けると、その方向に行くのではないかなあというふうに思っております。

白丸の終わりから3つ目に「やはり人との比較では本当のモチベーションは生まれない。選手にはもともと運動能力などの差があるが、持ってる力を全部出せるかどうかはその人次第。」とあります。これは、選手を子どもに言い換えれば学校教育につながるかなあというふうに思います。

その次は、私にも痛いことですが、**「簡潔」に「明確」に**ということ、長くなりましたけれども、伝えたいことはそのようなことでございます。

今年もスタートいたしましたけれど、また教育委員さんたちにはお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

3) 事業報告及び事業計画

○北澤教育次長から、事業報告及び事業計画資料について説明がされた。

〈質疑・意見等なし〉

4) 審議案件

議案第1号 駒ヶ根市公立学校教職員組合への回答について

○小原学校教育係長から説明がされた。

〈説明の要旨〉

それでは、別冊でお配りしました議案第1号というのを御覧いただきたいと思いますが、こちらは、前回、定例教育委員会で御協議いただきまして、この回答書を作成させていただきました。

た。前回御覧いただいた後、1月の校長会にかけまして内容を見ていただきましたが、特に修正はございませんでしたので、本日お手元にございますのは前回お示したものと同様のものございます。それで、これを今日、組合のほうへお渡しするというものございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

〈質疑・意見等なし〉

○本多教育長が諮り承認。

議案第2号 駒ヶ根市指定文化財の指定について

○宮下社会教育課長から説明がされた。

〈説明の要旨〉

資料のほうの5ページを御覧ください。

「記」の下にございます「1 指定有形文化財に指定する文化財」ということで、11月の教育委員会の折に文化財審議会へ諮問しますということで諮問させていただいて、審議会で検討した結果について御報告するものございます。

名称が光前寺 大阿闍梨寂応塔（阿弥陀如来像）1基。

所在地が駒ヶ根市赤穂29番地、所有者の住所及び名称は、光前寺になります。

別つづりで「指定有形文化財指定について（答申）」というのがございますけれども、3枚のつづりになっているものございますけれども、そちらを御覧ください。

答申の内容ございますけれども、令和2年10月27日付けで諮問のありましたことについて、駒ヶ根市有形文化財に指定することが適当である旨、答申します。

1 市指定有形文化財に指定する文化財ということで、先ほど申しましたとおり光前寺の阿弥陀如来像です。

2の文化財審議会の意見についてですが、「光前寺阿弥陀如来像」については、「大阿闍梨寂応塔」を含めた全体の指定が望ましいと考へます。また、名称を「光前寺大阿闍梨寂応塔（阿弥陀如来像）」とすることが望ましいと考へます。」

1枚めくっていただひて、指定についてございますけれども、種別については彫刻になります。

名称は先ほど申し上げたとおりございます。

その中で、6番の内容ございますけれども、構造は、大阿闍梨寂応塔の上に蓮華があり、その上に阿弥陀如来像が立つということで、1枚めくっていただひまして、カラーの写真が載っておりますけれども、下の台座のところが大阿闍梨寂応塔という塔ございますので、その上に阿弥陀如来像が座しているという形になっております。

指定についての意見ございますけれども、「守屋貞治は生涯に336の作品を残しましたが、阿弥陀如来像については唯一この作品だけであり、伊南地方では最高傑作と言われている。本来、仏像は、製作優秀であり、かつ貴重なものであると評価されるため、駒ヶ根市指定文化財に指定することが望ましい。」ということで諮問させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

〈質疑・意見等なし〉

○本多教育長が諮り承認。

5) 協議事項

(1) 来年度学級編成について

○小原学校教育係長から説明がされた。

〈説明の要旨〉

6 ページを御覧ください。

これは1月20日現在の令和3年度の児童数、生徒数、学級数予定の一覧でございます。

まず上の段の表でございますが、小学校と書いたものでございますが、その中の学年を左側に書いてありまして、区分というところに各学校のそれぞれの人数が入っておるというものでございます。

一番上の1年生を御覧いただきますが、まず赤穂小学校ですけれども、普通学級児童数が99人、特別支援学級へ入学予定者ゼロということで、合計が99名、普通学級が3ということでございます。

次に赤穂東小学校ですが、普通学級の児童数が72名、特別支援学級の児童がゼロで、普通学級が3ということになります。

次に赤穂南小学校ですが、普通学級の児童が57名、特別支援学級が4名ということで、合計61名で、普通学級が2クラスになります。

中沢小学校は、普通学級児童数が10名、特別支援学級がゼロということで、普通学級が1学級です。

東伊那小学校は、普通学級児童数が13名、特別支援学級がゼロで、普通学級が1学級であります。

来年度の入学数は255名で、普通学級10学級ということで現在予定されております。

2年生から6年生まででございますが、一番下に合計というところがございます。それぞれの学校での普通学級数、知障学級、情障学級、院内学級の学級数をお示しさせていただいておりますので、また御覧いただきたいと思っております。

資料にはお示ししてございませんが、1月1日現在の小学校の人数は、現在1,698人となっております。来年度の人数が1,653名ということでありますので、今年に比べるとマイナス45名ということになります。

次に、下の段、中学校の表でございますが、小学校と同様に一番上が1学年でございますが、まず赤穂中学校の普通学級の生徒数ですが229名、特別支援学級が11名、普通学級のクラス数は7クラスになります。

東中学校につきましては、普通学級が53名、特別支援学級が2名ということで、クラスは2クラスになります。

合計で295名、9クラスという形であります。

こちら一番下のところに普通学級、知障学級、情障学級、院内学級のクラス数を記載させていただいております。こちらまた御覧いただければと思っておりますが、中学校につきましては1月1日現在の生徒数が914名ということですので、来年度予定している生徒も914名で、これは同数で変わりなしということでございます。

以上です。

〈質疑・意見等の概要〉

○福澤教育長職務代理者 これは、児童生徒数の減少については、現実はどういうことなのか、地元の区長さんなり、そういう人たちにも、またこういうことも伝えてもらいたい。

○本多教育長 4月7日に区長会がありますので、そのあたりで伝えられたらと思います。

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

6) 報告事項

(1) 行事共催等承認申請の専決処分について

○馬場教育総務係から説明がされた。

〈説明の要旨〉

7ページをお願いします。

受付番号2-046は、新規の案件です。内容はピアノ教室の発表会で、赤穂公民館で、誰でも入場無料ということです。

2-047は、例年、後援しています社会福祉協議会主催による社会福祉大会です。赤穂公民館で、入場無料で行われます。

2-048の中学生のバレーボール大会は、平成29年度に後援実績のある行事であります。泰成スポーツフロアで開催される予定でしたが、コロナの感染拡大により中止となったものです。

2-049のバイオリン発表会は、昨年度の後援実績があるもので、宮田村民会館で、入場無料で行われる予定です。

2-050は、駒ヶ根市スポーツ協会剣道部による剣道大会で、昨年度も後援実績があるものです。

2-051は、新規の案件です。国土交通省天竜川上流河川事務所の主催による工事の安全管理に関する研修会で、建設業関係者であれば誰でも無料で参加できるというものです。

説明は以上です。

〈質疑・意見等なし〉

7) その他

(1) 市内小中学校の卒業式、入学式への教育委員の出席について

○小原学校教育係長から説明がされた。

〈説明の要旨〉

8ページを御覧ください。

令和2年度卒業式、令和3年度入学式の出席予定委員案ということでございます。

出席担当割り振り基準、既に御承知のとおりでございます。この表の下にあります。

出席担当割り振り基準であります。① 竜西3小学校は、教育長、赤穂地区委員の中で割り振る、前年と交代で出席、② 竜東2小学校は、中沢地区委員と東伊那地区委員の中で割り振る、前年と交代で出席、③ 中学は地元へ、告辞は教育長と職務代理で割り振る、教育長と職務代理は前年と交代で出席という基準がございます。それに基づきまして、今回、割り振りをさせてい

ただきました。

まず、卒業式については、小学校が3月17日の水曜日、中学校が18日の木曜日です。

令和3年度の入学式については、4月6日の火曜日の午前、午後で、これは先日行われました校長会でこの日がいいだろうということで決めさせていただいたものでございます。

それで、まず卒業式からでございますが、赤穂小学校は唐澤委員さん、赤穂東小学校は氣賀澤委員さん、赤穂南小学校は本多教育長、中沢小学校は木下委員さん、東伊那小学校は福澤教育長職務代理者さんとさせていただきました。中学校の卒業式につきましては、赤穂中学校は福澤教育長職務代理者さん、唐澤委員さん、氣賀澤委員さんの3名、東中学校は本多教育長と木下委員さんの2名ということでお願いしたいと思います。

次に入学式でございますが、小学校の入学式ですが、赤穂小学校が本多教育長、赤穂東小学校が唐澤委員さん、赤穂東小学校が氣賀澤委員さん、中沢小学校が福澤教育長職務代理者さん、東伊那小学校が木下委員さんです。午後、中学校の入学式につきましては、赤穂中学校が本多教育長と唐澤委員さんと氣賀澤委員さん、東中学校が福澤教育長職務代理者さんと木下委員さんということでお願いしたいと思います。

このように割り振りをさせていただきましたが、次回の定例教育委員会のときに告辞の文書案、ひな形を準備させていただきたいと思いますので、また御覧いただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

〈質疑・意見等なし〉

8) 閉会宣言 本多教育長（午後4時29分）

駒ヶ根市教育委員会会議規則第 25 条の規定によりここに署名する。

令和 年 月 日

駒ヶ根市教育委員会

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員
